

平成二十七年 度

文責 上村公之

玉東中学校便り

【共に学び、共に感動を】

第十二号 平成二十八年二月二十二日

自分の思いを堂々と発表
することができました。

二月十二日、中央公民館で立志式を行いました。満十四歳を迎えた二年生は、昔で言えば元服の年です。この日を迎えるに当たり、二年生は、幕末の志士 橋本左内 が十五歳の時に自分の生き方の指針として記した五箇条の「啓発録」について学習しました。そして、今までの自分を振り返り、将来の夢や目標を考え、それを達成するためにこれから何をなすべきかを作文に綴りました。

立志式では、その文章を百五十程度にまとめたものを一人ずつ演台に立ち発表しました。そして、感謝の気持ちを込めて、作文を保護者に手渡しました。



立志の誓いを述べる松村さん



感謝の気持ちを込めて…

当日は、来賓を代表して前田町長様から、夢を持つこと、夢の実現に向けて努力していくことの大切さを話していただきました。また、保護者代表の山川様からは、成長していく我が子に対する思いを語っていただき、親の深い愛情に思わず目頭が熱くなりました。

二年生にとって、今後の学校生活やこれからの生き方を考える貴重な時間となりました。

チャレンジ精神
と忘れずに…!!

立志式に引き続き、全校生徒とその保護者が一堂に会して親子講演会を開催しました。

今年度は、九州大学大学院助教 片山 歩美様を講師として迎え、「私が森の研究者になつた理由」という演題で講演をしていただきました。



講演される 片山 歩美 氏

片山様は、二年生の坂田優陽君の叔母様に当たる方で、講師を依頼したところ、ご多用中にも関わらず快く引き受けてくださいました。片山様は、主に熱帯雨林の森林が地球環境にどのような影響を与えているかを研究されていて、研究内容の紹介やこの職業を選んだ理由、またこれからの目標などについて、話していただきました。講演では、生徒に対してたくさんのメッセージをいただきましたが、その中の一部を紹介します。

- ・自分が本当にやりたいことや本当に好きなのはいったい何なのか、なかなか分からぬ。
- ・色々やってみると、少しずつ分かってくる。
- ・やらずに後悔するより、やってみて振り返ったり、反省したりした方がよい。
- ・軌道修正や回り道は、悪いことではない。
- ・とにかくまずやってみること。そして考え、またやってみること。この繰り返しが必要。

夢や目標を持ち、挑戦していくことの大切さを改めて学ぶよい機会となりました。

更なる発展の予感!

二月十九日、第一回生徒総会が開催されました。まず生徒会三役が、平成二十八年度のスローガンと、三本柱「自主的に動く生徒会」「みんなで高め合う生徒会」「まとまりのある生徒会」に対する思いを発表しました。その後、各委員会の委員長が、年間目標・目標達成のための手立て・常時活動・毎月の活動を発表しました。

その発表に対して、全校生徒から質問や意見が出されました。発言した生徒は数十名に上り、生徒会活動を通して、自分達の手で学校を更に良くしていきたいという思いが強くなりました。



H28「生徒会スローガン」